



コロナ退散 無病息災

東区町内会のどんど焼き

12月 定例会	令和2年度 補正予算	2~3P
	委員会レポート	5~9P
	ズバリ町政を問う!	10~19P

志免町っていいね!



「かすや6町交流キルトの会」

志免町キルターの世界入賞作品



県と6町(宇美・粕屋・篠栗・志免・須恵・久山町)が、一体となって、「かすやの個性や魅力を地域内外に広くアピールし、交流を図ること」を目的に、かすや6町を輪番でキルト&ハンドメイドフェアを開催して6年目になります。

この会は、それぞれの町のキルターが、開催地の担当者になり、町のお宝を発見し、PRして町内外の方々と交流を深めています。

このような取り組みは全国でも珍しく、わざわざ東京から取材に見えキルト雑誌にも再三取り上げて頂き、年ごとに進化しています。

各町のキルターはキャリアを持つ方々で、特に志免町の方は世界キルト展で入賞、ハワイで展示会開催など活躍されています。

展示会の費用は協賛店を募り、双方でPRをして盛り上げています。

生涯学習の発表の場、商工のPR、行政の場の提供など上手く連携しています。

(キルトの会 記)

令和2年度の議会報告会・意見交換会は中止します

コロナ感染拡大防止のため、議会報告会・意見交換会は中止します。

編集後記

開催日 12月21、23日、
1月8、13、19日



コロナ禍の中、新年を迎えました。また、議会だより作成中に2回目の緊急事態宣言が発令されました。

今できることは、大切な人の命を守るために責任ある行動をとり、励ましあいながらコロナを乗り越えること。

希望あふれる2021年にしていきたいですね。

議会広報特別委員会

議会広報特別委員会

委員長	亀崎 大介	委員	大西 勇
副委員長	岩下 多絵		大熊 則雄
発行責任者	丸山 真智子		小森 弘美
			稲永 隆義

お知らせ お気軽に
傍聴にお越しください。

次回の定例会は

3月5日予定

議会傍聴は、町民が町政に参加する機会の一つです。ぜひお越しください。
手話通訳(要申込み)、車椅子席もあります。
詳細は議会事務局までお問い合わせください。

TEL 935-1262 FAX 935-7070

議会事務局は町役場4階です。

メールアドレス gikai@town.shime.lg.jp





債務負担行為*

広報紙配布 業務委託へ

5,537万円

広報しめ・議会だよりなどを町内会による配布からポスティングするため業務委託するもの
(令和2年度契約締結の日から令和6年3月31日まで)

委員会からの提言

広報紙配布は、町民コミュニティを担っている町内会の重要な部分であるのに、議会に対して情報も報告もなく憤りを感じる。今後、閉会中の付託案件として予算常任委員会で審議していく。

学童保育支援員を増員

1,744万円

令和3年度の学童保育の配慮の必要な児童に対する加配支援員配置について委託業者による支援員の募集等を令和2年度に行うため
(令和2年契約締結の日から令和4年3月31日まで)

聖火リレー出発式開催

350万円

聖火の出発を祝うイベントを行うステージ設置などの費用
コロナ禍の関係で規模を縮小して開催する
(令和2年度契約締結の日から令和3年5月31日まで)



とびうめ国体の炬火リレー(平成2年)

ひとくちメモ

*債務負担行為とは

事業が複数年度にわたる場合に、予算の先取りを行う行為。

特別会計

国民健康保険

619万円増↑

総額 41億9,211万円

後期高齢者医療

2,709万円増↑

総額 6億4,798万円

12月定例会

12月定例会は、4日から15日までの12日間の会期で開かれました。
議案4件のうち議案3件を可決。
一般質問は12月7日、8日、9日の3日間で9人が行いました。

令和2年度 一般会計補正予算

賛成多数
可決

2億5,821万円増↑ 総額214億518万円

主な歳入

ふるさと納税 大幅アップ!

1億7,200万円増↑

補正前 6億5800万円、補正後 8億3000万円
巣ごもり需要の関係で寄付が増えたため
令和2年11月現在の寄付の状況は以下の通りです。
寄付件数：29,732件(前年度 22,358件)
寄付額：4億1,339万円(前年度 3億757万円)



ふるさと納税で町を元気に

主な歳出

高齢者インフルエンザ予防接種 無料へ

1,019万円増↑

インフルエンザ予防接種が無料になり接種者増が見込まれるため

ふるさと納税事務費も増額

5,699万円増↑

郵便料等の組み換え、寄付額の増加に伴う事務委託料が増加したため



議会運営委員会 開催日 10月13日、10月21日、11月4日、11月30日



議長は別室から参加

古賀市議会オンライン研修(メイン)

古賀市議会の議会運営委員会とオンラインでつなぎ、議会改革と災害時の議会運営について1時間半に渡り視察研修を行った。両市町の議長も参加し、議会改革などの説明を受け、有意義な意見交換の場となった。

議会初!!
オンライン研修会

委員会
初めは緊張していたが、簡単に会議ができた。利だと思っただけで、今後の生活様式も考えると、もっとオンライン会議を推進したい。

議会広報特別委員会 開催日 11月18日



読んでいただける議会広報へ

議会の見える化
住民との信頼築く
議会広報づくりを目指します

福岡県町村議会広報研修会
福岡県町村議会議長会主催の研修会に議長、議会広報特別委員会委員と事務局で参加しました。

日時 令和2年11月18日(水)
会場 博多サンヒルズホテル
講師 芳野政明氏
(議会広報サポーター)

内容
◆議会広報の基本と編集

- ① 住民が読むものとしてわかりやすく、住民目線の企画
- ② 議事・議会活動を的確に「議事公開、議事の経過を伝える
- ③ 読みたくなる紙面づくりー人目を引き付け、視線誘導

◆議会報クニック「しめ議会だより」第94号の総評

・表紙「小学校再開!」の写

真が横位置で迫力あり、コロナ禍の中であたたかな登校風景が伝わりとても良い。議会だよりに関するアンケートはいい試みで、政務活動費の公表は適切。委員会報告は、良く行われている。

改善点
・見出しをくについてではなく、「何が、どうなるのか」がわかるように工夫した方がよい。

・志免町「いいね」のような住民登場はあるが、住民の議会や行政への意見や要望、提案などの「声」を受け止める常設企画が欲しい。

委員会

表紙には、良い写真を撮れるように今後も頑張ります。また、見出しはわかりやすくするように文章を考えたいと思います。

臨時会 (11月30日)

議員、特別職、職員等の賞与を減額

賛成多数
可決

人事院勧告により賞与を減額する条例の改正

民間の支給割合との均衡を図るため、期末手当の支給月数に反映し、年間で0.05ヶ月分引き下げる。令和2年度分は12月賞与で0.05ヶ月減額、令和3年度分から年間で0.05ヶ月分減額。対象は、町議会議員、特別職の職員(町長、副町長、教育長)、志免町職員。志免町会計年度任用職員は、令和3年度4月1日から施行。

GIGAスクール構想始動

賛成多数
可決

財産の取得

- 書画カメラ
台数：227台
取得の方法：指名競争入札
取得価格：11,835,780円
- 電子黒板
台数：227台
入札：随意契約(公募型プロポーザル)
取得価格：72,413,000円



総務文教常任委員会に付託され審議を行った。電子黒板のプロポーザルについて疑義があがり、審議の継続が困難な状況となって再開するには**教育長の謝罪と減給**を求めるべきとなり、教育長に伝えた。審議を再開し賛成多数で可決した。

12月定例会

教育長の給料2カ月分を10%減額する条例

賛成少数
否決

教育長の給料月額減額に関する条例

臨時会の付託審議で了承された条例が提案され、総務文教常任委員会で審議し、教育長に減給するほどの瑕疵はないのではないかと意見が出た。

賛成 古庄、安河内、岩下

反対 末藤、大西、牛房、大熊、丸山(卓)、藤瀬、小森、木村、亀崎、稲永

反対討論 大西

事の本質は「議会への説明責任」「入札における矛盾」が混乱の原因。この問題は数年来指摘されてきた。これからはそのたびに誰かが責任を取るのか。このような責任の取り方が最善の方法なのか、執行部も重く受け取らなければならない。現場は使命感、責任感をもって一生懸命にやっている。今回を機に二元代表制・議会基本条例の原点に立ち返ることを提言して反対とする。



厚生建設常任委員会 開催日 10月23日、11月17日、12月1日



放置されたままの空き家



健康長寿に大切な3つの柱

危険な空き家問題解決早急に

危険廃屋等の視察へ

視察した空き家の一部は、近隣住民や町内会から倒壊の危険性があり、相談が入っている家屋で、地域の防犯・防災等の観点からも、改善の必要性が高い。

現在、町は所有者へ定期的に連絡を取り進捗状況の把握に努め、町内パトロール、定期的に巡回、経過観

委員会からの提言

- ・長年の近隣住民の苦しみ、環境の悪化等により早期解決が必要
- ・空き家に対するこれからの町の方向性をどうするのか
- ・条例の改正等、トップの決断が必要

察を行っている。

健康寿命の延伸にはフレイル(虚弱)予防が大事

まちではどう取り組んでいるのか？

介護予防事業として平成19年度より取り組む。対象者に対し、介護予防のためのプログラムを町内の4医療機関と協力し実施している。公民館や保健センターで実施している「うきうきルーム」は、高齢者の閉じこもりを予防、仲間づくりを行い、介護予防を目的とする。今後は、フレイルチェックリストを実施し、出前講座にフレイル予防も追加する予定。

委員会からの提言

- ・フレイル予防は健康寿命の延伸、活力あるまちづくりに繋がる
- ・町内会、シニアクラブとの連携も重要
- ・高齢者問題が複数の課にまたがり、重複する事業は統一すべき
- ・うきうきルームへの参加者が少ない、もっと周知徹底を

ひとくちメモ

※フレイルとは
加齢とともに心と体の機能が低下し、健康と要介護状態の中間のことで、適切な取組みを行うことで健康な状態に戻ることが可能な状態のことを言う。

総務文教常任委員会 開催日 10月20日、11月17日、12月1日



タブレット授業みんな真剣



先生向けのタブレット研修みんな真剣

GIGAスクール構想の推進

今年度の達成目標は？

学校ICT環境の整備については、タブレットは全て11月中旬に納品済みで、令和3年1月の書画カメラと電子黒板の納入で完了予定。グループ社による先生たちへの研修は11月中に行う。

Q、ICTを使った授業の今年度中の目標は？
A、先生たちに電子黒板と書画カメラ及び子どもたちの端末をうまく

コロナ禍の子どもの居場所づくり事業

オンラインを活用した試験的試み

- ①子どもたちが楽しめるプログラム提供事業
オンラインを通じての講演や、体操、英会話、ダンス等。
対象人員：20名程度/回
実施期間：令和2年10月～令和3年9月
実施日時：土日祝の日中2時間
- ②学習支援事業
ICTツールを活用した学習支援。
オンラインで1対1で支援。
対象人員：5世帯程度/回
実施日時：平日夕方、土日祝の日中2時間
実施期間：①と同じ
- ③夏休み居場所事業
昨年、協働事業で実施した「夏休みマナビバ事業」のコロナ禍版として企画。
対象人員：20名程度/回
実施日時：夏休み中の午前中・25日間
- ④プロジェクトチーム会議を立ち上

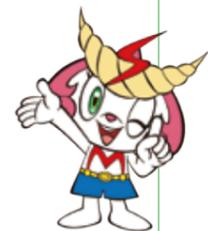
委員会からの提言

タブレットを家に持ち帰らせた時、破損させた時はどうするか等のガイドライン作成を。タブレット使用のガイドラインを早急に決め、父兄にも丁寧に説明して、志免町のGIGAスクール構想がうまく軌道に乗り、運用されるように今後も注視していく。

委員会からの提言

学習支援事業の公平性に疑問を感じる、見直しが必要との委員会からの要請に、子育て支援課より、見直しとの回答を得た。オンラインを活用した子どもの居場所づくり事業は、試験的な試みでプロジェクトチーム会議も立ち上げられるとのこと、PDCAサイクルをうまく機能されてより良い居場所づくりになることを期待し、注視していく。

効果を検証



ひとくちメモ

※GIGAスクール構想とは
令和2年度より小中学校での新学習指導要領の全面実施に伴い、遅れている学校ICT環境を全国一律に整備し、全学年の児童生徒がそれぞれ端末を持ち、十分に活用できる環境を目指すもの。



学校プール調査研究特別委員会 開催日 10月28日、12月9日



建て替えが必要な東小学校プール



改修(塗装)工事が必要とされている西小学校プール

プール施設と授業のあり方

学校プールの現状は？

小中学校(6校)のプールは、建設後40年以上経過しているものも半数を超えており、施設の老朽化が進んでいる。

1クラス当たりの授業時数は、10時間から15時間を予定している。しかし、天候や水温と気温の差や水質の問題等で実際には6時間から15時間となっている。

長寿命化を図り、今後の方向性を考える

民間委託のメリット

- ① 教職員のプール管理にかかわる時間が削減できる。
- ② 専門的な指導を受けることができる。
- ③ 室内プールのため天候に左右されない。
- ④ 施設改修に係る経費、水道代、薬剤費等が必要になる。
- ⑤ 室内プールなので、水温や水質など衛生面でも安心できる。
- ⑥ 屋内温水プールなので、5月末から10月ぐらいいまでの間で授業を実施できる。

民間委託のデメリット

- ① 施設までの移動費用(委託費においてかなりの割合を占める)。
 - ② 施設までの移動時間により実質的な学習時間が減る。
 - ③ 送迎時の安全確保。
- 学校教育課の考えは、建替えの必要がある東小学校は民間委託の試行をする。その他の5校については、今後適宜必要な改修を加えつつ、できる限り長寿命化を図っていくこと。

委員会からの提言

学校教育課の方向性により時間的猶予を確保していく中で、今後将来の志免町のプール授業のあり方、考え、可能性について、引き続き志免町に適した方向性を調査・研究が必要。

予算常任委員会 開催日 11月19日



志免中学校グラウンド横



シーメイト敷地

新しい生活様式

自分、家族、周りの方と社会を守るため、**新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防しましょう。**
また、マスク着用による熱中症にも気を付けながら感染予防策をしましょう。

外出控え 密集回避 密集回避 換気 拭き拭く 手洗い

食事は対面ではなく斜め向かいで
レジに並ぶときは、前後をあける
2m

キャッシュレスでの決済を活用
ひとりひとりの行動が感染を減らす。日本を救う。
通販も利用する

持ち帰り・デリバリーも利用する
公共交通機関は混雑時間帯を避ける
公園は空いた時間、場所を選ぶ

福岡県 最新の情報は コロナ 福岡県庁

新型コロナ対応支援策

行政議会

一体でコロナに立ち向かう

11月28日時点での「新型コロナウイルス感染症支援策」の事業として22件、2億6244万円。給付金等として12件。うち国支援策として47億8079万円、町支援策5億1368万円。事業及び給付金の合算で55億5692万円であり内容一覧の提示を受けた。

展開中の事業や給付もあり、今後の感染状況によっては新たな展開も予想される。

どうなる弓道場建設

町民に理解を得られるよう努力を

9月議会で議員から提案された、志免中学校グラウンド横とシーメイト敷地内について説明を受けた。

志免中学校グラウンド横は、土地買収など経費が膨らむ。シーメイト敷地内は、福祉施設としての位置づけがあることと土地が狭いとのこと。

また、シーメイト周辺は福祉ゾーン、総合公園はスポーツゾーンとの説明があった。

委員会からの提言

そのゾーンの目的に沿った明確な活用計画などの提示がない。

解体された東体育館の跡地や東保育園を含む東小学校エリアの地域計画も示されていない。個々の施設での検討は非効率的な対応である。

志免町は狭い町なので、土地活用は計画的に進め、その中で弓道場も考えるべき。

町民の理解を得られる解決に向けて努力すべきと提言した。

委員会からの提言

高齢者・妊婦への支援と料飲店の実情と指導の徹底などを提言した。

また、発熱等の症状がある場合の相談方法と連絡先が、「かかりつけ医などの地域で身近な医療機関に事前に電話相談をする」に変わった。

福岡県内の「診療・検査医療機関」は、県のホームページに掲載されています。

※これまでの事業や給付は、広報しめまちで掲載しています。



大熊 則雄 議員

トイレ改修の把握は

都市整備課長 把握して、随時対応している

社会教育課長 使用団体との一斉清掃に職員が同行し確認している。

大熊 その清掃の後に検査を行ったことはあるか。

今年度は中止にしたが、定期使用団体に協力を求め、12月に一斉清掃を行っている。

社会教育課長 施設によっては、管理人が清掃の指導や清掃を行っている。

大熊 各グラウンドの清掃作業は、どのように行っているのか。

大熊 災害時に公民館は避難場所になる。断水した時のトイレ対策として、下水道に直接繋ぐマンホール型トイレがある。志免町ではどのように対応するのか。

都市整備課長 点検により不具合や破損箇所を把握して、随時対応している。

大熊 公園のトイレに傷みがある。改修の必要箇所は把握しているのか。

志免東公園については、週三回行っている。

都市整備課長 公園の利用者数などから、週一回、週三回、週五回に分けて清掃している。

大熊 公園のトイレ清掃は、月に何回行っているのか。

生活安全課長 災害時ににおけるトイレ対策として簡易トイレを備蓄している。

町長 現在の対応は簡易トイレだが、災害時を見据えたトイレの確保を進めていきたい。



清潔で利用しやすいトイレの提供を

ズバリ!! 町政を問う!

大熊 則雄 議員 11P

① トイレ改修の把握は

牛房 良嗣 議員 12P

① シニアクラブ設置へ支援を

丸山 卓嗣 議員 13P

① 心に刻まれる聖火リレー志免に
② 学校施設の更なる有効活用を

亀崎 大介 議員 14P

① 店舗運営支援を
② 貸オフィス建設を

岩下 多絵 議員 15P

① 国境を越え選ばれるまち 志免

藤瀬 康司 議員 16P

① 志免町の魅力を町外に発信を
② 事業者用ごみ袋価格見直しを

小森 弘美 議員 17P

① 防災対応力の強化を
② 心の健康への支援を

末藤 省三 議員 18P

① 75歳以上の医療費2割負担は
② マイナンバーカードの効果は

古庄 信一郎 議員 19P

① 識者答申で資料館は櫓の周辺に

● 一般質問とは議員が町政全般(一般事務・事務の執行状況・将来に対する方針など)について、町長など執行機関の考えを議員個人として問いたです。質問の内容は事前に通告し、持ち時間30分の範囲内で*1問1答で行います。
※質疑、答弁を理解するまで繰り返す方法

● 会議録に基づき議員個々の自由編集で掲載しております。詳細は会議録(HP・図書館・各公民館に置く)をご参照ください。掲載は質問順としています。





丸山 卓嗣 議員

心に刻まれる聖火リレー志免に

町長 感動と記憶に残るものにしたい

丸山 町内の小・中学生の見学やイベント参加への考えは、**学校教育課長** ぜひ体験させたい。

教育長 オリンピック学習活動を年間通して展開したい。

丸山 町内小中学校にてオリンピック教育に取り組む予定や意向は。

丸山 志免町を通るルートやスケジュールは。
社会教育課長 令和3年5月11日。17時30分シーメイトにて引継ぎ、町内約2キロを11人でつなぐ。



聖火リレールート

町長 町の多くの皆さんに感動と記憶に残るものになりたい。

丸山 聖火リレーの感動が心に刻まれるものにしてほしい。

丸山 町内を通過する時間帯は17時以降だが授業の環境または学校行事としての対応は可能か。
教育長 当日は難しい。

学校施設の更なる有効活用を

町長 様々な取組を進めていきたい



休日に利用される学校施設

丸山 私が今注目しているのは、学校施設の更なる開放化論だ。
学校施設には公共的な視点から見て全ての施設が備

教育長 社会教育の重要性は承知している。十分に協議して進めたい。

丸山 現在、各小中学校のグラウンドでは学校授業以外にも社会教育施設として広く利用されている。学校施設整備をどうお考えか。

丸山 さらに学校複合化論も魅力あるテーマだと考えている。
学校施設に病院やコンビニなどの施設を加えたものが学校複合化論。今後検討してみる価値があると考えている。

町長 学校施設の有効活用に向けて様々な取組を進めていきたい。

わっている。学校がない時間、休日はシーメイトのように利用できるイメージ。
学校施設を更に有効活用する方法を検討することも必要では。

町を挙げて取り組んでいただきたい。
町長のリーダーシップを期待する。



牛房 良嗣 議員

シニアクラブ設置へ支援を

町長 未設置解消へしっかり応援する

牛房 今や人生100年時代へ突入、志免町も例外ではない。平成23年65歳以上のシニア8000人が令和2年11月には11000人へ急増、内4000人が医療・介護・認知症の見守りを受け、残り7000人は元気一杯働き続けたい、地域・町のために貢献したいと願う人たち。元気シニアの受け皿となるシニアクラブの存在と使命は重大。新しいシニアクラブへ3つの提言をした。

1つ目 急増する高齢者の見守りは、元気シニア一番の大事な仕事。
2つ目 元気シニアに就労を。
3つ目 90代、80代、70代シニアへのスマホ勉強会、新しい仲間づくり、頭と手のトレーニング。志免町全クラブで実践、全国が注目。

町長 スマホの勉強会は大事なこと。シニア役員会の方でも確認を取りあいながら進めていきたい。
牛房 その他、高齢者専門の困り事相談窓口の設置を。経済的問題や健康状態、住居などの悩み事を抱えている。役場内の高齢者担当課がバラバラで分かりにくい。高齢者福祉課の設置検討を。

町長 スマホの勉強会は大事なこと。シニア役員会の方でも確認を取りあいながら進めていきたい。
牛房 シニアの活躍する町には若い世代が集まってくる。シニアクラブの活性化は町づくりの基本。町長の積極的行動に期待する。

町長 これまでシニアクラブ会長共々お願いにあがってきた。シニアクラブ、シルバー人材センターがともに元気になることが町全体が元気になるものと考えている。今後とも応援をしていく覚悟。

町長 まずは各課が連携し対応していくように努めたい。
牛房 高齢者が急増しているにもかかわらず、シニアクラブの未設置が半分もあることは問題。
積極的に未設置解消へ尽力してほしい。



シニアの活躍で町が元気に



岩下 多絵 議員

国境を越え選ばれるまち 志免

町長 共生社会へ町の取り組み必要

岩下 わが町の外国人人口は近年増加傾向に。国籍言語も多様化する中、多言語対応の外国人相談窓口の設置等、気兼ねなく来庁できる環境づくりが必要。

近年「やさしい日本語」で対応する自治体も増加。専門家による「やさしい日本語講座」があるが、職員への周知は。

総務課長 外国人との共通語として、コミュニケーションツールになる。分かりやすく、おもてなしの方法の一つであると考ええる。

関係部署の職員には講座

町長 再度立ち上がる場合、町としてもしっかり取り組み

まちの魅力推進課長 当時はボランティア団体主催の国際交流会や異文化交流が行われた。その後、解散になり現在は担い手不足。

岩下 以前行われていた国際交流町民会議の今は。

岩下 第二言語の習得も母語の確立が必須。今後母語力の向上に尽力を。

教育長 学校では、読み調べ書く、発表、協議等を多く経験させ国語力向上に取り組んでいる。

岩下 やさしい日本語を使うには、まずは国語力。母語というものがある。母語の確立は10歳±2歳。子どもたちへの取り組みは。

参加を勧めたい。

みたい。

岩下 地域の産業は、外国人なしでは存続出来ないほど人手不足は進んでいる。近年、わが国以外のアジア諸国の経済成長は著しく、外国人労働者の獲得さえも難しくなっている状況。それでも日本を選択する理由を挙げると、安心安全な国ということ。

わが町が子育て世代に選ばれる人が集う町を目指すなら、国境を越えて選ばれる「どこの国の人も住みやすいまちづくり」と考える。

町長 共生社会に町としても取り組みが必要と考える。



どこの国の人も住みやすい共生社会



やさしい日本語かるた



亀崎 大介 議員

店舗運営支援を

町長 環境づくりを進めていきたい

亀崎 コンテナやプレハブを並べての店舗運営支援。昨年9月議会で質問したが、その後、どのような検討がなされたのか。

町長 3年間は敷地を無料にするなど、創業しやすい環境づくりを進めていきたい。

亀崎 例えば、子育て中の女性は10時から13時まで仕事が出来なくても難しい現状。自宅で、空き時間に特技を活かした物を作り、販売は代わりの人が行う。

このような店舗を置けば、どの世代も働きやすくなるのでは。



チャレンジショップ(吉富町)

町長 働きやすい時間帯での働き方を応援していきたい。

貸オフィス建設を

町長 ぜひ実現したい

亀崎 貸オフィス建設を提案する。

自宅です仕事をするにによる問題の解消になるのではないかと。

町長 働き方改革の中で、協力できることは進めていきたい。

亀崎 志免町が発信していかねばならない魅力の一つは、空港まで歩いて行けること。

例えば、別府西地区に少人数の社員とパソコンで海外とも仕事をする企業を誘致してはどうか。

町長 テレワークは、これからの働き方の一つの目玉。企業誘致の一つとして貸オフィスがあると思う。

亀崎 例えば、別府西地区の空き地や高齢で自宅を使わなくなる方の土地を活用する。その土地に、どのような



建物が建てられるのかを考え、その土地の形状に合った建物を建設してはどうか。

町長 土地の所有者の方に対して何か町からの支援ができるかどうかも捉えて、先を見据えた考え方をしたい。

亀崎 最終的な目的は町民のため。

困りごとに先回りして解決してほしい。

町長 ぜひ実現したい。



防災対応力の強化を

町長 先進地に学び勉強していきたい



小森 弘美 議員

小森 女性の防災リーダーがいることによって子どもや高齢の方、障害のある方LGBTの方など多様な方への配慮に資すると考えるが、自主防災組織の育成、強化、防災リーダーの育成において、女性参画の推進、啓発はできているか。

生活安全課長 女性の意見が反映して活動できるようになる、出前講座等を通じて行っている。

小森 防災は自助が大事であり、いざという時のために災害リスクの心構え、準備に



福岡市の「女性の視点を活かした防災ブック」

町長 今後そういった防災ブック等を作成する際は、多くの女性の意見をお伺いしながら作成したい。

小森 おいて女性の視点からみた「女性の視点を活かしたハンドブック」を町独自で作成してみてもどうか。

町長 災害時において迅速にトイレの機能を確保するものにマンホールトイレがある。志免町でもマンホールトイレを導入できないか。

町長 災害時のトイレ対策は色々な手立てが必要と聞く。マンホールトイレについて先進地に学んでいきたい。

心の健康への支援を

町長 町内会とも話し合い進めていく



様々な立場の人がゲートキーパーの役割を！

小森 コロナ禍に見舞われ自殺者が増加の傾向にある。うつ病に至る前の早期の段階で悩みを聞いてあげる役割を持つゲートキーパーの役割は重要であるが、現在のゲートキーパーの活躍の場は心の健康づくりの支援策にどう組み込まれているか。

健康課長 健康課では、町民の皆様が誰かのゲートキーパーになり、自殺防止に活躍

※ゲートキーパーとは
ひとくちメモ
自殺の危険を示すサインに気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援に繋げ、見守る人のこと。

してもらいたいと思っっているが、実際の活躍の場は把握していない。

小森 各町内会単位でゲートキーパー養成講座を行ってみては。

町長 命の門番ともいうべきゲートキーパーの役割はとても重要であると認識している。町内連合会ともよく話をして進めていきたい。

志免町の魅力を町外に発信を

町長 堅坑櫓改修後に考えていく



藤瀬 康司 議員

藤瀬 町外の人が志免町に行く目的として魅力は何か。

まちの魅力推進課長 国の重要文化財である旧志免鉱業所堅坑櫓をはじめ多くの史跡や中の坪公園で行っているイルミネーションである。

藤瀬 福岡空港の観光客は約9000万人。そこから志免の観光客は何人か。

まちの魅力推進課長 把握していない。

藤瀬 把握できないのは観光客を求めているという点。日本、世界から来てもらえる環境づくりを。歴史資料室もしっかりと整備を行うべきでは。

町長 堅坑櫓修復後に一ヶ所にまとめた歴史資料室等を提案したい。

藤瀬 古墳を観光地として町内外にPRしていくべき。ゆるキャラやグッズなどお土産品を作るべき。

まちの魅力推進課長 町外に向けては難しい。



国指定史跡の七夕池古墳

事業者用ごみ袋価格見直しを

生活安全課長 価格の見直しは考えていない



家庭用1枚50円 事業用1枚113.4円

藤瀬 事業所用ごみ袋が約倍と非常に高くなっているのはなぜか。

生活安全課長 事業者の責任で処理をしていただくため。

藤瀬 今後価格の見直し予定は。

生活安全課長 価格の見直しは考えていない。

藤瀬 ごみ袋にネーミングライツ会社名を入れて一部収入を得る方法もある。志免町の事業者に優しいまちづくりをしてほしい。



古庄 信一郎 議員

識者答申で資料館は櫓の周辺に

町長 櫓の修復後、前向きに進める

古庄 郷土愛醸成と郷土資料館の必要性については過去何度も議論をし、検討すると答弁されたが、全くその動きがない。町の総合計画でも創生総合戦略でも、その目的の根幹をなすこの事について、強い思いが感じられないが。

町長 住民自らが地域に対して愛着を抱き、誇りを持つ郷土愛の心を育てる必要があり、その一つが文化財だ。歴史資料館は必要だ。

古庄 教育振興基本計画にも郷土愛醸成が謳われているが具体的に示され実働している

古庄 教育振興基本計画にも郷土愛醸成が謳われているが具体的に示され実働している

古庄 志免町は最低の規模と利用で、機能的にも用を足していないからだ。町民他から頂いた貴重な文化財の物件数の把握もなく、町内4ヶ所の収納庫に分散収納。大変失礼なこと。平成25年に九大名誉教授、国の文化庁他識者の皆様から「堅坑櫓保存活用計画

町長 歴史や伝統を知る地域の講師に紹介頂く事は非常に大事だ。

町長 議会終了後、町の歴史、今後どうするかしっかり検討する。

古庄 資料館は地域文化の創造の場、多くの人に町を訪れてもらい、産業・地域活性化は、飯塚市の伊藤伝右衛門と白蓮のように物語が必要。地域が歴史文化を共有し物語を創造発信する場が資料館だ。堅坑櫓修復後では遅い。早急に検討委員会等の立ち上げをすべき。

町長 私の指導力不足もあり進んでいない、櫓の修復後、周辺整備も含め前向きに進めていきたい。

古庄 資料館は地域文化の創造の場、多くの人に町を訪れてもらい、産業・地域活性化は、飯塚市の伊藤伝右衛門と白蓮のように物語が必要。地域が歴史文化を共有し物語を創造発信する場が資料館だ。堅坑櫓修復後では遅い。早急に検討委員会等の立ち上げをすべき。



生涯学習2号館内の志免町歴史資料室



末藤 省三 議員

75歳以上の医療費2割負担は

町長 高齢者の方々に丁寧に説明する

末藤 75歳以上の方々にについては医療費2割負担になる。さらに大病院への紹介状なしの受診については5000円の負担になる。病院にかかることができないという状況が生まれてきたとき、町として住民の生活を守らなければならぬ状況にある。2割負担についてどう考えているのか。

町長 医療費負担については、自治体がどうこうということは非常に難しい判断で、そういった意味では高齢者の方々に丁寧に説明することが一番だと思っている。

末藤 介護予防、日常生活支援総合事業の対象を要介護5の人まで拡大し、要介護者の介護保険給付外しを可能にするもので、要介護の人まで保険でなく自治体で見守る制度に変わってくる。市町村が手厚い介護をやらなくてはいけなくなるのではないかと思う。

マイナンバーカードの効果は

住民課長 カードの利便性に問題がある

末藤 マイナンバーカードの現状について、カードと免許証や住民票、健康保険証をつないでやろうとしているが、志免町がマイナンバーカードの奨励をしてきた割には少ない、この原因は何か。

住民課長 カードの申請交付は2022年までにマイナンバーカードの保持を想定するが、保持者が増えない背景には、利便性に問題があると思う。現在の交付率は20.3%となっている。

